

第三セクターの経営情報について

報告対象団体		北九州まちづくり応援団（株）
会社概要	会社の事業概要	1 指定管理事業（小倉城、小倉城庭園、しろテラス） 2 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業
	資本金額	32,000 千円
	本市の出資額	1,000 千円
	本市の出資割合	3.125 %
	従業員数	38 人
営業報告の要点		<p>中心市街地の賑わい創出のため、次の活動を行った。</p> <p>1 指定管理事業 「小倉城」、「小倉城庭園」、「しろテラス」の指定管理者として、施設の管理・運営を行った。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、施設の休止を要請されたため、令和2年4月1日から6月18日までの期間を休館した。その結果、小倉城と小倉城庭園の合計入館者数は前年度比52%の約15万6千人となり、前年度の約30万2千人から大幅な減少となった。</p> <p>2 共通駐車券事業及び賑わいイベント事務局事業 共通駐車券事業は、予定どおり実施した。賑わいイベント事務局事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、小倉イルミネーション点灯式の大乾杯大会は中止した。</p>
収支状況の要点	当期純利益	1,582 千円
	前年度との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高 236,660千円（前年度比10,378千円減） （前年度 247,038千円） ・経常利益 1,791千円（前年度比31,235千円増） （前年度経常損失 ▲29,444千円） ・当期純利益1,582千円（前年度比31,234千円増） （前年度当期純損失▲29,652千円）
	その他 （剰余金・欠損金、設備投資、資金調達など）	<ul style="list-style-type: none"> ・前期末（令和2年3月31日）の繰越利益剰余金 ▲18,345千円
繰越利益剰余金		▲16,763 千円
株主総会 （令和3年6月29日 開催）	監査報告	監査役1名が監査を実施した結果、適法かつ正確であった。
	議案	<p>(1)決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1号議案 第16期事業報告及び決算案承認の件 ・ 第2号議案 取締役及び監査役の選任の件

(令和3年3月31日現在)

北九州まちづくり応援団株式会社

令和2年度 経営状況報告

令和3年8月5日
産 業 経 済 局

【1号議案】

第16期 令和2年度事業報告書（案）

〔 自：令和2年4月01日 〕
〔 至：令和3年3月31日 〕

活動の概要および成果

第16期(令和2年度)は、①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業に絞り、北九州市の重要な観光資源である「小倉城／小倉城庭園」を中心に、行政や周辺の商店街などと連携し、賑わいづくり・活性化に寄与し、新型コロナウイルス感染拡大防止に対する方策や休業要請等、不測の事態に対応し、収益黒字化を図ってまいりました。

北九州市からの「指定管理事業」(小倉城・小倉城庭園)については、コロナ禍、4月1日～6月18日における閉館、開館中の各種感染防止対策を履行の上、入館者(小倉城及び小倉城庭園の合計)は前期比52%(北九州の魅力再発見パスポートキャンペーンが無ければ28%程度)と大幅減となる中、コロナ感染(不可抗力)影響に関する指定管理料等の補填(3,920万円)、雇用調整助成金の受給(720万円)及び経費削減(▲1,340万円)等の施策を実施することにより、収支均衡となりました。

「共通駐車券事業」および「賑わいイベント事務局事業」についても、コロナ禍管理強化を図り、黒字化することができました。

以上の事業活動の結果、売上高は2億3,666万円(前年比95.8%)ながら、経費は1億8,571万円(前年比85.9%)で、経常利益179万円となり前期比3,124万円増の大幅改善となりました。

貸借対照表

北九州まちづくり応援団 株式会社

令和 3年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流 動 資 産】	【 88,235,952】	【流 動 負 債】	【 46,021,802】
現 金	4,208,744	未 払 金	1,120,096
預 金	41,496,240	未 払 費 用	41,214,697
商 品	2,231,501	未 払 法 人 税 等	208,500
貯 蔵 品	801,400	預 り 金	1,711,109
仮 払 金	27,200	未 払 消 費 税	1,767,400
未 収 入 金	39,379,522	【固 定 負 債】	【 31,816,000】
立 替 金	91,345	長 期 借 入 金	31,616,000
【固 定 資 産】	【 4,838,760】	預 り 敷 金	200,000
(有 形 固 定 資 産)	(4,732,760)	負 債 合 計	77,837,802
建 物 附 属 設 備	3,322,760		
工 具 器 具 備 品	1,410,000		
(投 資 そ の 他 の 資 産)	(106,000)	純 資 産 の 部	
出 資 金	10,000	【株 主 資 本】	【 15,236,910】
敷 金	96,000	資 本 金	32,000,000
		(利 益 剩 余 金)	(△16,763,090)
		そ の 他 利 益 剩 余 金	△16,763,090
		繰 越 利 益 剩 余 金	△16,763,090
		純 資 産 合 計	15,236,910
資 産 合 計	93,074,712	負 債 ・ 純 資 産 合 計	93,074,712

損益計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
事業収入金	50,248,258	
小倉城関連売上	186,412,647	236,660,905
【売上原価】		
期首棚卸高	3,317,531	
小倉城関連売上原価	11,729,522	
仕 入 高	44,942,736	
* * 合 計 * *	59,989,789	
期末棚卸高	△2,231,501	57,758,288
売上総利益金額		178,902,617
【販売費及び一般管理費】		185,709,945
営業損失金額		△6,807,328
【営業外収益】		
受取利息	457	
雑 収 入	10,343,378	10,343,835
【営業外費用】		
支払利息割引料	145,294	
雑 損 失	1,600,000	1,745,294
経常利益金額		1,791,213
税引前当期純利益金額		1,791,213
法人税、住民税及び事業税		208,569
当期純利益金額		1,582,644

販売費及び一般管理費

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

単位：円

科 目	金 額
給 与 手 当	4,797,563
賞 与	148,000
法 定 福 利 費	935,667
福 利 厚 生 費	220,032
旅 費 交 通 費	2,764
通 信 費	384,081
交 際 費	10,000
減 価 償 却 費	180,783
賃 借 料	557,720
保 険 料	42,982
水 道 光 熱 費	108,457
消 耗 品 費	122,491
租 税 公 課	41,400
事 務 用 品 費	207,820
支 払 手 数 料	55,200
諸 会 費	144,550
新 聞 図 書 費	4,260
会 議 費	96,641
地 代 家 賃	1,506,000
事 業 運 営 費	179,000
協 賛 金	1,105,000
雑 費	1,143,645
小倉城関連諸経費	173,715,889
合 計	185,709,945

株主資本等変動計算書

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

単位：円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他利益剰余金	利益剰余金合計		
		繰越利益剰余金			
当期首残高	32,000,000	△18,345,734	△18,345,734	13,654,266	13,654,266
当期変動額					
当期純利益		1,582,644	1,582,644	1,582,644	1,582,644
当期変動額合計	-	1,582,644	1,582,644	1,582,644	1,582,644
当期末残高	32,000,000	△16,763,090	△16,763,090	15,236,910	15,236,910

個別注記表

北九州まちづくり応援団 株式会社

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しています。

固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しています。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

貸借対照表等に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 957,740円

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

前期末株式数（発行済普通株式） 640株

当期増加株式数（発行済普通株式）

当期減少株式数（発行済普通株式）

当期末株式数（発行済普通株式） 640株

前期末株式数（発行済優先株式）

当期増加株式数（発行済優先株式）

当期減少株式数（発行済優先株式）

当期末株式数（発行済優先株式）

監査報告書

北九州まちづくり応援団株式会社
代表取締役 白川 敬 様

第16期事業年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日迄）の
会計帳簿ならびに必要な関係書類を綿密に監査いたしました。

その結果、いずれも適法かつ妥当である事を認めます。

以上

令和 3 年 5 月 28 日

北九州まちづくり応援団株式会社

監査役： 安田 堅太郎

【2号議案】 取締役選任（案）について

（1）株主総会決議事項：取締役の選任（案）

氏名	生年月日		備考
田中 規雄		取締役	北九州市 小倉北区長
船津 章裕		取締役	北九州まちづくり応援団(株) 統括本部長

※利島康司代表取締役は、第16回株主総会をもって辞任

※北里勝利取締役は、第16回株主総会をもって辞任

※原賀一博取締役は、令和3年3月31日をもって辞任

・取締役の任期

至 第16回定時株主総会終結時 (令和3年6月29日)

至 第17回定時株主総会終結時 (令和4年6月末予定)

令和3年3月31日現在

会社の概要

(1) 主な事業内容

- ①「中心市街地活性化事業」の推進
- ②まちづくりに関する事業の企画推進、経営、管理、コーディネート
- ③公共施設の管理運営受託

(2) 事業所

本社
・北九州市小倉北区船場町2-10

指定管理部門（小倉城・小倉城庭園）
・北九州市小倉北区内2番1号（小倉城） 他

(3) 株式の状況

- ①会社が発行する株式の総数 1,000株
- ②発行済株式の総数 640株
- ③当期末株主数 17名

(4) 株主の状況

(1株=5万円)

株主名	持株数	出資金額
株式会社井筒屋	80株	400万円
北九州商工会議所	60株	300万円
TOTO株式会社	60株	300万円
株式会社安川電機	60株	300万円
小倉中央商業連合会	60株	300万円
協同組合日専連北九州	60株	300万円
シャボン玉石けん株式会社	60株	300万円
APAMAN株式会社	20株	100万円
第一交通産業株式会社	20株	100万円
西鉄バス北九州株式会社	20株	100万円
中央記念株式会社	20株	100万円
国際興業株式会社	20株	100万円
株式会社九広	20株	100万円
石川金属工業株式会社	20株	100万円
福岡地所株式会社	20株	100万円
株式会社朝日広告社	20株	100万円
北九州市	20株	100万円
合 計	640株	3200万円

(参考資料)

(5) 取締役および監査役

氏名	生年月日	役職	備考
利島康司		代表取締役会長	北九州商工会議所 会頭
白川敬		代表取締役社長	北九州商工会議所 副会頭
二郎丸聡夫		取締役	北九州商工会議所 理事・事務局長
小松良明		取締役	小倉中央商業連合会 理事長
北里勝利		取締役	北九州市 小倉北区長
原賀一博		取締役	北九州まちづくり応援団(株)
安田堅太郎		監査役	西鉄バス北九州(株) 代表取締役社長

【2号議案】

第17期 令和3年度事業計画書

〔 自：令和3年4月 1日 〕
〔 至：平成4年3月31日 〕

活動計画の概要

第17期（令和3年度）当年度は、前年度に引き続き①指定管理事業、②共通駐車券事業、③賑わいイベント事務局事業、の3本柱で利益を生み出し、それによって北九州市の重要な観光資源である小倉城を中心に、行政や周辺の商店街などと連携して賑わいづくり・活性化に寄与してまいります。

「指定管理事業」は、小倉城及び小倉城庭園の3年間運営管理受託の3年目にあたります。未だ続く新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業は大きな打撃を受け続けております。この状況下、本年10月の「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」開催など、集客チャンスを的確にとらえ、感染防止策を徹底しながら経費削減に努め事業を着実に回復させてまいります。

「共通駐車券事業」については、引き続き、新規活用店舗や利用駐車場の拡充に努めるとともに、より効果的な事業PRを行ってまいります。

「賑わいイベント事務局事業」については、冬の小倉を彩る「小倉イルミネーション実行委員会」事務局を引き続き受託することを予定しております。

事業全体として、第17期の売上高は2億2,676万円を見込んでおり、経常利益については、298万円の予算を計上をしています。